

木造用

戸襖II型

引戸本体 (SL新戸襖対応仕様)

■取付けられる方へのお願い

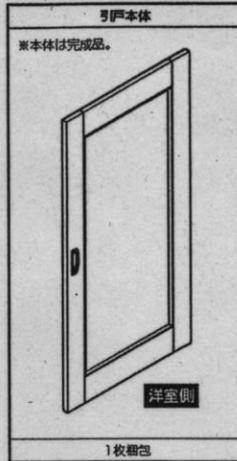
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本体の吊込み後、本体の鴨居へのかかりが、5mm以上ある事を確認してください。本体と枠の間に、すき間が生じたり、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。
- 本体に寄りかからないでください。無理な力が加わると、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

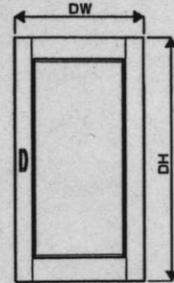
■部品・部材の明細



■製品寸法

(単位mm)

枠幅	DW	DH
在来用	0818	814
	0820	814
204用	0818	814
	0820	814



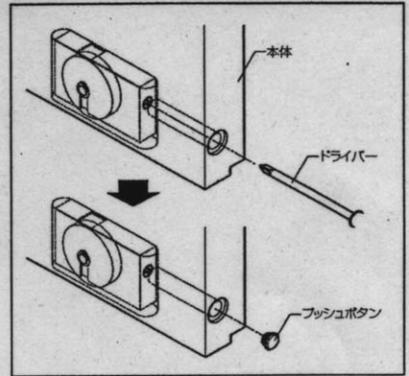
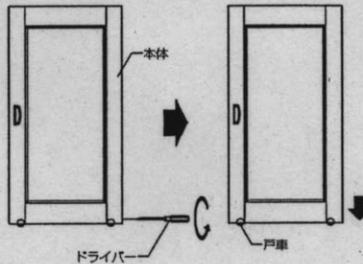
■本体の建付け調整

■上下の建付け調整

●本体の戸車には、上・下調整機能が付いています。プッシュボタンを外しドライバーで建付けを調整してください。調整幅は+1、-2mmです。右に回すと本体が下がります。調整後、プッシュボタンをはめ込んでください。

▲注意

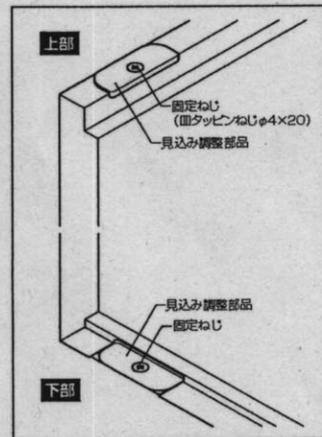
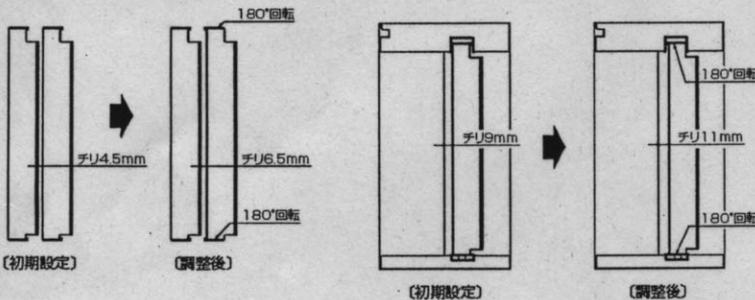
- 建付け調整後、下記の事項を確認してください。
- 本体の吊込み後、本体の鴨居へのかかりが、5mm以上あることを確認してください。本体と枠の間に、すき間が生じたり、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。
- 本体と縦枠の上・下部のチリが均等か確認してください。以上の調整が不十分の場合、本体が外れるおそれがありますのでご注意ください。



■本体見込み方向のチリ調整

●本体の戸首には、見込み方向のチリ調整機能が付いています。固定ねじを緩めて、見込み調整部品を180°回転し、固定ねじで締付けて調整します。

- ①引違い戸で、建具本体同士が当たる場合。 ②片引き戸で、建具が中縦枠に当たる場合



■戸襖の現地張り

●生地タイプ(K-2)の戸襖の場合は、現地で襖紙を張ってください。

①本体の生地面側(白色)に襖紙を澱粉糊(糊付き紙の場合は水)で張ります。

②襖紙を、本体の寸法に合わせノコギリで切断します。

③襖紙のリケイ紙をはがし、襖紙の上から圧着してください。

※襖紙の厚さは2種類あります。厚い方を縦に、薄い方を横に使用してください。

※現場手配した襖紙を張った場合は、次回の張替え時から上に張増ししてください。

●お願い

●クロス張りにしないでください。ソリが生じます。

